

# 秋間小だより

安中市立秋間小学校

NO14 令和4年11月14日

発行責任者：木口 敦子

【学校教育目標】 育てよう！未来に続く「生きる力」～家庭・地域と共に～

11月9日（水）に2年間の指定を受けた「西部教育事務所学力向上実践事業」及び「県 ICT 活用促進プロジェクト（モデル校事業）」の発表会を行いました。

安中市の竹内徹教育長をはじめ、群馬県教育委員会、西部教育事務所、安中市教育委員会、市内・市外のいろいろな学校からたくさんの先生方が来校し、本校のこの2年間の取組や提案授業についてご指導いただきました。

授業は、3年生国語「れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう（『すがたをかえる大豆』『科学読み物での調べ方』『食べ物のひみつを教えます』）」、4年生総合的な学習の時間「つなごう命～秋間防災プロジェクト～」を公開しました。

2年間の取組を経て、子供たちの ICT 活用技能の向上はめざましいものがありますが、それだけでなく、子供たちの言葉を中心とした表現力の向上、主体的に学びを進めていく力の向上が感じられ、本当に嬉しく思いました。

また、この2年間、一丸となって研究と実践を根気強く繰り返してきた本校の教師たちの頑張りに、身内ではありますが心から拍手を送りたいです。きっと秋間小の教師たちの学びへの熱意が、秋間小の子供たちにも伝わったからこそ、子供たちの向上もあったのだと思います。

秋間小の子供たちには、「学び」はこれからもずっと続いていくことを自覚し、生涯自分の課題を追究し続ける大人になってくれることを願います。



## 秋間公民館「生涯学習作品展」

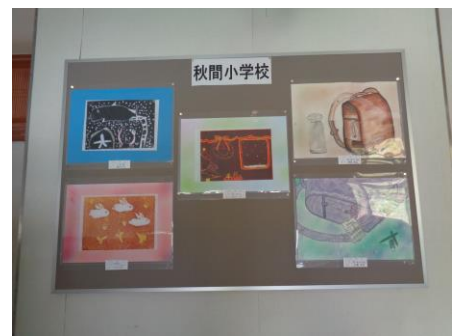
11月4日、5日の2日間、秋間公民館で3年ぶりの「生涯学習作品展」が開催されました。

秋間小学校からも、28点の児童の作品を出品しました。

私も5日の午後の受付係を担当したり、作品を鑑賞したりし、新しく地域の方とお知り合いになれたこともとても良かったです。

小学生や保育園児の作品は、どれもびのびとされていて心がほっこりしましたが、子供たちだけでなく、油絵、書道、手芸作品など、秋間地区の大人の方々も自分の好きなことのレベルアップをめざして、腕を磨いていらっしゃることがとても伝わってくる展示でした。

見に行ってくださいました皆さん、ありがとうございました。



## 図書委員会集会

今朝は、図書委員会集会がありました。①読み聞かせ ②「読書名人インタビュー」③「秋間小の100冊」読破児童の表彰 という内容でした。

内容も子供たちの進行も、集会の質がとても上がってきたと感じました。ICTを必要十分に活用している点にも、子供たちの表現力の向上がうかがえました。

読み聞かせは、「たった3びきだけのいけ」という絵本を図書委員の子供たちが役割分担して読んでくれました。思いやりや差別について考えさせられる良いお話でした。「読書名人インタビュー」では、今年図書室の本を借りて読んだ数が100冊以上となった6年生の [ ] に図書委員が「どんなきっかけで本を読むようになったか」「どんな時間に読んでいるのか」などを尋ねました。怜さんは、4年生の時にケガで外遊びができなくなったことをきっかけに読書するようになり、今はわずかな隙間時間にも読書を楽しんでいるようです。そして、「秋間小の100冊」読破の表彰は第1号として6年生の [ ] が受けました。

“読書の秋”にぴったりの集会でした。秋間小の子供たちみんなが読書好きになると良いです。



## がんばった子供たち

敬称略

- 【安中市陸上教室記録会】男子小学6年100m第1位： [ ] 女子小学6年100m第3位： [ ]  
女子小学5・6年4×100mリレー 第4位： [ ]  
男子小学5・6年4×100mリレー 第5位： [ ]  
【安中市交通安全ポスターコンクール最優秀賞】小学校低学年の部： [ ] 小学校高学年の部： [ ]  
【富士スバルカップミニバスケットボール大会 第3位】 [ ]

### 12月の予定

- 12月2日(金) 交通安全感謝の会  
安中市人権講演会  
14:20 複数下校(全学年)  
PTA新旧役員顔合わせ  
3日(土) 市小学生駅伝競走大会  
家族の日大会  
5日(月) 通学班会議  
下校時補導  
7日(水) 集金日  
学期末事務処理日(7日~9日)  
14:20 複数下校(全学年)  
12日(月) 読み聞かせ  
14日(水) クラブ  
23日(金) 2学期終業式  
11:10 一斉下校(予定)  
29日(木) 学校閉庁  
(~令和5年1月3日)

## 竹内教育長さんからお聞きした

### ~すてきなお話~

「あーきのゆうひーに てーるやーまもーみじ…」みなさんがよく知る童謡「紅葉:もみじ」は、高野辰之氏の作詞です。この歌の歌詞は高野氏が故郷長野へ帰る際、乗っていた旧碓氷線の汽車の窓から見えた熊ノ平付近の山溪の美しさに心を動かされ、作られたと伝えられています。

歌詞の途中に出てくる「濃いも薄いも」の「うすい」は碓氷に、「松を彩る楓や 蔦は」の「松」は松井田にかけているという解釈もあるようです。

「もみじ」の歌は、音楽の教科書にもずっと載っている有名な曲ですので、ほぼ日本全国の人が歌える童謡だと思います。そんな曲にこの安中市の風景が歌われているとは、なんとすてきなことでしょう。

立冬を迎え、長野県境の山山も美しく色づいてきました。故郷の美しさを誇りに思いながら、ロずさみたいですね。